

**Q. 食中毒報道によって水との接し方に変化はありましたか？（2 択）  
 具体的にはどのような変化がありましたか？（8 択／複数回答）**

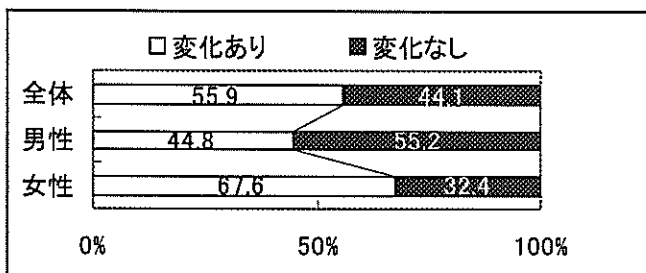
全体では過半数、女性だけでは 7 割近くが『変化あり』  
 8 割以上が『手を洗う回数が増えた』

1996 年夏の“0-157 騒動”以来、食中毒が日常の話題になることが多くなっています。マスコミによる一連の食中毒報道によって、水の使い方、接し方、認識などに変化はあったのでしょうか。

全体では 55.9%が『変化あり』と回答しました。男女別に見ると、『変化あり』の男性が 44.8%に対して、女性は 67.6%に達しており、20 ポイント以上の顕著な差が出ました。

続いて『変化あり』と答えた人だけに、具体的にどのような変化があったかについて聞いたところ、1 位『手を洗う回数が増えた』（81.0%）、2 位『料理素材の洗浄を丁寧にやるようになった』（63.1%）、3 位『生水をそのまま口にしないようになった』（53.3%）などの結果になりました。

**■食中毒報道による水との接し方の変化の有無（99 年）**



**■具体的な変化の内容（99 年）**

